

学校図書館法公布 70 周年記念「未来に広がる学校図書館」

標語選定委員会の報告

本日は、入選・次点に輝いた皆様おめでとうございます。

学校図書館法公布 70 周年記念事業運営委員会は公益社団法人全国学校図書館協議会の機関誌を通して、「豊かで楽しい学校図書館」「あったらいいなこんな学校図書館」など、理想とする学校図書館の標語を募集いたしました。

5 月 31 日の締め切りまでに応募総数は 1,866 編となりました。中には、那覇高校、京都市立洛北中学校、岡山県立瀬戸南高等学校など学校での取組みもありました。

応募作品の中から、事務局で粗選定をして、谷川俊太郎選考委員長をはじめ、総勢 5 名の選考委員により厳正な審査を行った結果、入選:「きのうの自分と あしたの自分を 今日変える 学校図書館」

加古 真優奈 (かこ まゆな)

次点:「過去を知り 今を学んで 未来を読む 学校図書館」

今北 葵 (いまきた あおい)

次点:「本をひらけば 未来がひらく ここはわたしの学校図書館」

賀来 晴美 (かく はるみ)

に決定いたしました。

2023 年 8 月 8 日

「未来に広がる学校図書館」標語選定委員会選考委員会

以下、講評です。

短い言葉に意味を凝縮するという点で、標語は詩に近づきます。入選作がいずれも非日常的時間を想定して書かれています。それはまた書籍に内蔵された時間であり、図書館に私たちが感じる独特な時空でもあります。

谷川俊太郎